

輪中堤・宅地かさ上げ事業に関する補足説明資料

（「住まいの再建に関する意向調査について」（9/25～10/15 実施）の回答中、今後の住まいについて「まだ、決めていない」の理由として皆様からの回答が多かった項目などの補足説明）

○公共事業等の復興へ向けた概要が定まるまで決まらない。

説明1 国道219号、県道中津道八代線、市道等の高さについて

集落における幹線道路や生活道路の高さについては、集落における「輪中堤」「宅地かさ上げ」と連携して検討を進めることとしています。

集落における道路の高さは、輪中堤と宅地かさ上げ、それぞれに異なりますので、集落の再建場所、範囲、高さが決定した後に、道路の平面線形や縦断線形、また、住宅への乗り入れ等について決定していくこととなります。

説明2 流失した深水橋、坂本橋、鎌瀬橋の復旧について

<復旧位置>

深水橋…現位置の下流側約200m

坂本橋…現位置の上流側約150m

鎌瀬橋…現位置の直近下流側

※橋梁の形状等を含め、詳細は「球磨川橋梁復旧技術検討会」で議論されることとなりますが、橋梁の高さは、復興まちづくりや治水対策と連携して検討を進めることとしています。

説明3 JR肥薩線の再開について

JR肥薩線について、復旧の目途は立っていません。JR九州は、国、県並びに沿線市町村で検討されている球磨川の治水方針が示されるのを待ち、復旧の費用算定を行うとしています。

本市を含む肥薩線の沿線自治体（16市町村）で構成する肥薩線利用促進・魅力発信協議会は、肥薩線全線復旧に向け、JR九州に対して要望を行っています。また、本市でも、国土交通省及び熊本県に対して、肥薩線の早期復旧に向けた支援について要望を行っています。

○資金の目途が立たない。

説明1 住宅再建にかかる災害融資制度について

高齢者向け新型住宅ローン ※詳細は、別添の資料をご確認ください。

○「輪中堤」「宅地かさ上げ」のメリットやデメリットを知りたい。

説明1 輪中堤・宅地かさ上げのメリット、デメリットについて

輪中堤は、早期の自宅再建等が可能ですが、輪中堤の高さを超える洪水に対して、現状に比べ家屋への浸水深を低減することが出来ない可能性があります。

宅地かさ上げは、自宅再建、集落の再生等に時間を要しますが、かさ上げ高さを超える洪水に対して、現状に比べ家屋への浸水深を低減することが出来ます。※別添のメリット・デメリットの比較をご確認ください。

○集落としての「輪中堤」「宅地かさ上げ」の方針が決まらない場合はどうなるのか。

説明1 集落としての方針の取りまとめが必要

「輪中堤」「宅地かさ上げ」は、集落を単位として実施する必要があります。

集落で意見交換を行われる場合など、国、県、市からも必要に応じて同席いたしますのでお知らせください。

なお、方針が決まった集落から詳細な検討や設計を進めていくこととしています。